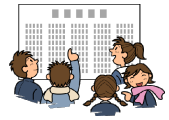




北東中だより

冬が過ぎ「光の春」に五感を澄ます

NO. 10



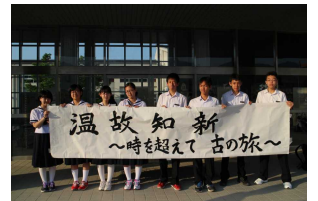
文責 仙洞田茂雄



光の春に ～残り1月となりました～



立春を過ぎ、暦の上でも春となりました。春一番が吹き荒れ、道端にさす光に春の予感を感じる今日この頃。3年生は残り数日となりました。卒業までには高校受験があり、気の休まらない日々ですが、体調に気をつけ最後の力を発揮して難関を突破してほしいと思います。また、在校生も残り1ヶ月です。全校生徒が「飛躍」の年だったと言えるような時間を過ごしてほしいと心より期待しています。



今回で、3年生に送る最後の学校だよりとなります。この1年間、様々な思い出をありがとう。春の修学旅行、夏の総体、学園祭、秋の合唱、全て鮮明に思い出される輝かしい青春の1コマには、皆さんの常に一生懸命な姿等がそこにありました。学習をはじめ、生徒会活動、部活動、学級での取り組み、日常的な活動が皆さんをここまで大きく成長させてきたものと思います。残すところ数日ですが、高校受験を乗り越え、立派な卒業の日を迎えることを期待しています。



平成28年度新生徒会本部活動始まる ～3年生に贈る会への取り組み～



昨年の暮れに来年度の生徒会会長・副会長が選挙で選出されました。執行部を組織し、2年生を中心に平成28年度に向けた新しい生徒会本部が結成されました。現在は3年生に贈る会（3贈会）に向け、1・2年生で様々な取り組みをしております。学年における中学校生活も残りわずかとなりました。生徒会本部を中心に思い出に残るものとなるように期待しています。今回は、生徒会副会長の鍋谷咲希さんからの、3贈会への思いと今後の抱負について載せて頂きます。



「私たち新生徒会本部は、先輩方との引き継ぎに向けて張り切って活動をしています。3年生が「飛躍」させてきてくださった北東中の伝統を受け継ぎ、自分達の手で北東中を創っていきたくと今思っています。しかし、そんな強い意志と同時に不安もたくさんあります。様々な場面で責任を負い、常に全校生徒のお手本となる、生徒会役員として

のとまどいを感じます。そんな時思い出すのはいつも先輩方の姿です。部活動でも、生徒会行事でも、3年生はいつでも私達の目標でした。そんな3年生に「感謝」の気持ちを伝えようと、3年生に贈る会の取り組みが始まっています。この会は1・2年生が協力して行う初めての活動です。3年生を頼ることはもうできません。だからこそ、「自分達」でこの会を創り上げたい、と思っています。1・2年生から3年生へ、たくさんの想いを届けたい。北東中を引っ張っていく大きな存在になりたい。そんな意志と意欲を強く持ち、1・2年生は頑張っています。本部の力だけではこの会を創ることができません。私達についてきてくれる仲間と共に、協力していきたいです。このメンバーで創る、最初で最後の会をきちんとした気持ちで3年生に贈りましょう。」



小中連携 小学校へ自主学習ノート展示



小中連携事業として、現在、学習への取り組みについて本校で取り組んでいる自主学習ノートを、相川小・新紺屋小・善誘館小の3校に、展示しています。これまでの生活を振り返り、充実した中学校生活のスタートができるようにとの思いです。1月の学校だよりにも掲載しましたが、早くからの学習習慣の確立が大事であることは明らかです。一生懸命に展示物を見ている小学生が印象的です。この春、新入生が志を高く入学してくれることを期待しています。



さて、自主学習には自らが課題をもち、日々取り組む姿勢が問われています。1・2年生はこれからです。自分の夢の実現に向け、自主学習ノートに取り組み、毎日継続する意志の強さを身につけて、新入生にも、良き手本となることを期待しています。



新入生保護者説明会 開催



2月8日(月)、平成28年度新入生保護者説明会が開催されました。当日は保護者の皆様にはお忙しい中ご出席して頂きありがとうございました。

本校は創立56年、全校生徒数320名の学校です。来年度の新入生は現在93名を予定しており、3学級編成でのスタートとなります。本校の教育目標は4点ほど掲げてありますが、中でも「新しい時代を生きぬく子ども」という視点で考えると、成長著しいお子さんが、本校のこの3年間の中で、何を体験し何を学び取るか、私たちにとって重要な教育目標の一つとして考えております。以下は当日の、私からの話の一節です。



「これからの日本は少子高齢化の進行により、今後は総人口が約3割減少し、65歳以上の割合が総人口の約4割に達すると言われていています。様々な変化と課題がある中、子ども達が将来どのような職業に就きどんな生活をしていくのか、きっと現在とは様変わりするだろうと推測されます。その時代、その環境の中、人としてどんな力が必要なのか、今どんな力を身に付けておくことが大切なのかを考え、大切な義務教育において、我々教師は教育実践していかなければならないと考えます。そして、子どもたちの力をつけていくには、保護者の皆様との連携が一番必要です。思春期で難しいとされる、この中学校生活の中では、子どもたちの豊かな感性を伸ばすことが重要だと私は考えています。新たにはじまる授業や学校行事・部活動などでは、今までにない人との出会い、感動やまた課題にぶつかる中で、その感性が磨かれ、将来の夢に向かうなど、人として生きてい

く土台になるものが確立されるものと信じています。」

4月の入学に向け、本校でもしっかり受け入れの準備をしていきたいと思いを。



1年生 情報学習会開催



2月4日(木)、本校1年生の情報学習会を開催しました。昨今、急激に発達をしている情報社会の中で、少年を取り巻く問題に発展している課題について、山梨県警察本部生活安全課少年・女性安全対策課「少年対策官 岡林健児 氏」を招き、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)「ツイッター・ライン等」の利用状況の説明に始まり、「ネット社会にひそむ危険性」と題して講演をして頂きました。話の中ではネットによる誹謗中傷、個人情報流出、犯罪被害の事例、ネット依存症など衝撃的な事例を話していただき、ネット使用のルールづくりや、ネット社会を生き抜くための示唆をいただきました。今後は、学校での情報教育、道徳教育、またご家庭と連携していくなかで、健全な生活が送れるようにしていきたいと考えます。



～《情報学習会を終えての感想》～

「私は、「SNS学習会」で学んだことが2つあります。1つ目は、SNSが危険だということです。SNSでは、ラインや、ツイッターなどのアプリは、個人情報がいっぱい入っていて、名前や住所が簡単にわかってしまうことがあります。2つ目は、人の顔を見て話すことの大切さです。メールでやりとりすると自分はそういうつもりではなかったのに、相手は自分とは違う意味で受け取ることがあります。顔を見て話す表情でわかったりする時があります。ですから、あまりSNSにたよらずに、自分で相手の顔を見て話したいと思いを。」

「僕は今回の「SNS学習会」で学んだことが2つあります。1つ目は、SNSは便利だけど使い方を間違えると、大変なことになるということです。SNSは情報を得たり、共有できたりと便利だけど、その使い方を間違えると大きな問題になったり、大変な事になってしまうということです。2つ目は、SNSのメリットとデメリットを知り、使い方を考えなければいけないということです。今回のSNS学習会で学んだことを今後活かしていきたいです。」



平成27年度 甲府市撫子賞 表彰式



困っている人を助けたり、進んで地域活動に参加したり、社会福祉に奉仕したり、そんながんばっている良いことをした子どもを表彰する「撫子賞」の受賞式が2月4日に甲府市教育研修所で行われました。なでしこ賞は「新しい時代を担う人づくり基金」事業の一環として、「思い遣(や)る心」をもった個人または団体に贈られるもので、他の模範となる行いをした児童・生徒を奨励する「善行賞」と、友達や下級生などを思いやる子を表彰する「友達賞」があります。本校では3年2組の青木諒君が受賞し、市長さんから賞状と盾をいただき、記念撮影を行いました。

青木君の受賞後の言葉です。「僕が撫子賞を受賞することができたのは、普段から自分で進んで行動していたからだと思いを。受賞のことを知らされた時、周りのことを考えた日頃の行いが認められたんだと少し安心しました。また、そんな日々の積み重ねが形になったことをとても嬉しく感じました。僕は将来、生物の研究者の職に就きたいと考えています。そのためにはもちろん、たくさんの勉強が必要です。しかし、それと同じくらいに細かなことにも気を配ることが重要です。共同で研究を進める仲間に対して、いかに自分が役に立っているかを考えていくことは、周りの人達と円滑に過ごす上で不可欠ではないでしょうか。今回の受賞で、与えられた仕事は誠実にやり、それ以上のことが

目指せるように努力する気持ちを再確認しました。この受賞を励みに、これから先の人生においても妥協せず、労を惜しまず自分なりに頑張っていきたいと思ひます。撫子賞のような気持ちが、北東中に更に広がってほしいです。」

平成27年度 全国発明工夫展 2年連続「入賞」 3年新福彩乃さん

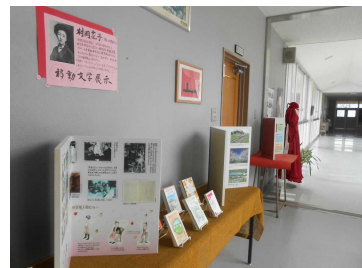


今年度、秋に正面玄関に展示させていただきました「くつあらいダッチ」の考案者3年生新福彩乃さんが、全国発明工夫展に見事2年連続「入賞」しました。この春卒業を前に、その発明工夫の原点となった話を聞きましたので一部紹介します。

～私が建築に興味を持ち始めたのは、小学校2年生の頃からです。自分の家が建てられていく過程を見ているうちに家を建ててみたいと思うようになりました。毎日工事の絵を描いたり、間取りを描いたりしていました。中学生になってからは夢を真剣に考える機会が多くなり、将来の選択肢の一つになっていきました。そして、小さい頃から、ものづくりが大好きでした。のこぎりで木を切って家をつくったり、色々な機械をつくったりしてきました。日々課題に追われる毎日でしたが、何かをつくっている時が一番楽しい時間でした。このことから将来はものづくりの仕事をしたと思ひました。そして専門的な知識と技術が学べる高等専門学校への進学を決めました。建築学科は私の個性を伸ばしてくれる所、これからは家族や友達と離れてしまひますが、好きなことを学べる喜びの方が大きいです。今まで支えてくれた家族や人達に感謝し、頑張っていきたいと思ひます～

県立文学館「花子とアン」企画展開催

県立文学館と連携事業の中で、今年度3回目の企画展となりました。今回は「花子とアン」の企画展で、12日より本校校長室前で開催しております。花子のドレス、絵本等1ヶ月に渡りお借りして展示しています。図書館との連携により、蔵書の本も合わせて見る事ができるようになっています。機会があればお立ち寄りいただき、ご覧になっていただきたいと思います。本年度は春の石川啄木展、秋の飯田蛇笏・龍太展と計3回にわたり企画展を開催することができました。来年は科学館とも連携した企画を考え、様々な分野と連携することによって、生徒の心に、潤いのある環境づくりに全力で取り組んでいきたいと思ひます。



◎2月も終わりになりますが、依然インフルエンザが流行しております。受験、卒業と大きな行事を前にしております。体調管理をしっかりと準備して下さい。

今後の予定

3月 3日	公立高校後期募集検査
	1・2年到達度テスト
5日	北口清掃
7日	3年生に贈る会 3学年P総会
9日	同窓会入会式 予行練習
10日	第54回卒業証書授与式
11日	入学許可予定者発表
14日～15日	三層楼を磨こう
25日	修了式 離任式



2年生百人一首大会の様子

